



# 2025年度石巻地域住民観光意識調査 結果報告書

2026年5月

(一社) 石巻圏観光推進機構



- 調査実施概要……………P2
- 調査結果サマリー……………P3
- 調査結果詳細
  - 1. 住民属性……………P4
  - 2. 地域住民の日常的な地域内行動……………P8
  - 3. 情報関心度と住民向け取組への期待……………P15
  - 4. 住民から見た石巻圏観光評価……………P18

<b>□ 調査目的</b>	石巻圏（石巻市・東松島市・女川町）の地域住民へのアンケート調査を通して、【住民属性】、【地域内イベントへの参加および観光施設の利用実態】、および【観光客の増加に伴う影響（期待と懸念）や住民向け施策への評価】を定量的に把握し、生活者の視点から見た石巻圏観光の強みや課題を洗い出すことで、今後の「地域住民と共生する持続可能な観光まちづくり」を検討するにあたっての基礎資料を得ることを目的とする。	
<b>□ 調査手法</b>	対面調査 …… 地域のイベント会場や公共施設等において、調査員が対面にて主旨を説明し回答を回収。 オンライン調査 …… 市・町報の誌面に回答用QRコードを掲載し、スマートフォン等から特設フォームを通じて回収。	
<b>□ 調査対象者</b>	石巻圏（石巻市・東松島市・女川町）に在住する地域住民	
<b>□ 調査地点</b>	石巻市	①市報いしのまき ②イベント「肉のまき」 ③イベント「石巻ふれあい朝市」 ④宮城県立石巻商業高校 ⑤石巻観光協会 駅前案内所
	東松島市	①市報ひがしまつしま ②イベント「東松島市産業祭」
	女川町	①広報おながわ ②イベント「女川町民文化祭」
<b>□ 有効回答数</b>	合計441サンプル（石巻市：251サンプル、東松島市：131サンプル、女川町：59サンプル）	
<b>□ 調査実施時期</b>	2025年10月1日～2026年1月31日	
<b>□ 聴取項目</b>	性別／年代／居住地域／イベント参加実績／観光施設利用実績／情報接触／情報関心度 施策意向／観光地評価／観光参画意向／受容性と影響評価	

本調査結果の要点をまとめると以下の通りである。

<p>□ 住民属性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答者の構成は<b>女性が64.2%と過半数を占め、年代別では70代と50代がボリュームゾーン。</b></li> <li>居住地は石巻市（56.9%）、東松島市（29.7%）、女川町（13.4%）の順。</li> <li>情報収集ツールは「<b>観光協会や自治体の公式サイト・パンフレット</b>」が<b>全体の4割以上</b>を占め、公的情報の信頼性が重視されています</li> <li>情報収集ツールの年代別の傾向では、10代はTikTok、20～40代はInstagramを主軸とする一方、50代以上は自治体サイト、70代以上は紙のパンフレットへと、<b>年齢が上がるにつれデジタルからアナログへ移行する傾向</b>が鮮明。</li> </ul>
<p>□ 地域住民の日常的な地域内行動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年に参加した主要イベントは <b>石巻市の「石巻川開き祭り」（36.6%）、東松島市の「松島基地航空祭」（20.0%）、女川町の「おながわみなと祭り」（20.9%）</b> など、各市町の伝統行事や大規模催事が強力な外出動機となっている。</li> <li>2024年に訪れた主要観光施設では「<b>道の駅 上品の郷</b>」や「<b>いしのまき元気いちば</b>」、「<b>道の駅 東松島</b>」、「<b>道の駅 おながわ</b>」といった「食」や「買い物」を伴う拠点が、住民の生活動線上の重要拠点として圧倒的な支持を得ている。</li> <li>行動の課題として、震災遺構や専門テーマ型施設、離島などは、生活動線から外れているためか訪問率が1桁台に留まっており、地域住民にとって「<b>心理的・物理的な距離感</b>」があることが推測される。</li> </ul>
<p>□ 情報関心度と住民向け取組への期待</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>地域イベント情報には90.2%、観光施設情報には86.0%</b>の住民が「興味あり」と回答しており、高い関心度が示している。</li> <li><b>住民限定の無料・割引制度があれば「利用したい」という声は9割</b>を超えている。特定施設への訪問率の低さは、関心の欠如ではなくコスト面や「訪れるきっかけ」の不足が要因の一つと考えられる。</li> <li>期待される施設の取組としては「<b>グルメイベント</b>」への関心が最も高く（38.6%）、次いで子供向けイベントや特別見学会など、単なる割引に留まらない「<b>特別感</b>」や「<b>体験</b>」を求める声が目立つ。</li> </ul>
<p>□ 住民から見た石巻圏観光評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の<b>71.7%が地域を「魅力的な観光地」と肯定的に捉え、92.3%が観光を地域活性化に「重要」</b>であると強く認識している。</li> <li>観光の重要性を認めつつも、現状の受入体制やおもてなしを「<b>良い</b>」と評価する層は55.1%に留まり、<b>サービス品質の磨き上げに改善の余地を感じている住民が約3人に1人存在</b>している。</li> <li>日本人観光客には7割が好印象ですが、<b>外国人観光客に対しては「どちらとも言えない」が46.5%</b>と半数近くに達しており、接触・交流の少なさから具体的な印象を持つに至っていない状況。</li> <li><b>56.4%が観光を通じた地域活性化活動に「参加したい」意欲</b>を持っていますが、「<b>具体的な方法が見えない</b>」とする潜在層も厚く存在している。</li> <li>住民からは、<b>二次交通の脆弱性、夜間・週末の飲食供給不足、情報の事前告知不足</b>を指摘する声が多く挙がっている</li> </ul>